

としょかんゆうびん

中学年向け 令和4年 秋
相生市立図書館 0791-23-5151

10・11・12月のこどもげきじょう&カレンダー ■ おやすみ

10月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	*	*	*	*	*

10/23 (日) 10:30~12:00

みんなあつまれ 秋のおはなしいっぱい!!

おはなし会

絵本『アンガスとあひる』

おはなし「絵すがた女房」ほか

ブックカバーづくり

「オリジナルブックカバーを作ろう！」



11月

開館時間・・・あさ9時～よる7時

日	月	火	水	木	金	土
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	*	*	*

11/20 (日) 11:00~11:30

リコーダー「秋風コンサート」



11/27 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『くまのコールテンくん』

おはなし「ブレーメンの音楽隊」

12月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12/4 (日) 11:00~11:30

人形劇「かさじぞう」



12/24 (土) 10:30~11:30

えいが会「つるのおんがえし」

「おじさんと不思議なおくりもの」ほか

12/25 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『コールテンくんのクリスマス』

おはなし「びんぼうこびと」



こどもげきじょうの

スタンプカードをつくろう

スタンプが5つあつまるごとに、**お楽しみ**があるよ!

★スタンプカードをもっているひと

- ・こどもげきじょうの行事にたくさん参加して、
どんどんスタンプをあつめてね。
- ・なくしてしまったら、もういちどもらえます。

ただし、スタンプは最初からあつめてね。

★スタンプカードをもっていないひと

- ・図書館にあそびにきたら、もらえます。
- みんなであそびにきてね♪



としょかん 図書館からのおねがい

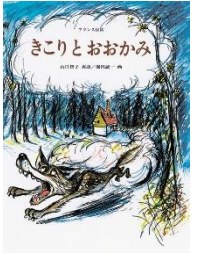
- ・体調の悪い人は、行事に参加できません。
- ・図書館に来るときは、検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いします。

おすすめのえほん

『きこりとおおかみ フランス民話』

やまぐち ともこ//さいわ ほりうち せいいち//え 福音館書店 P

表紙のおおかみ、おびえた顔でにげていますね。なにがあったのでしょうか？ある冬、このおおかみは、おなかをすかせていました。そのころ、森のはずれの家では、きこりとおかみさんがスープをにこんでいました。きこりの家にしのびこんだおおかみは、あたまにあつあつのスープをかけられ大やけど。1年後、おおかみは、こんどはなかまをひきつれて、きこりの家へやってきます。追いつめられたきこりはぜったいぜつめい！



『ヒギンスさんととけい』 パット ハッチンス//さく たなか のぶひこ//やく ほるぶ出版 P-ハ

家のやねうらべやでとけいを見つけたヒギンスさんは、このとけいが本当に正しくうごいているのか、しらべることになりました。もうひとつとけいを持ってきて、時間をみると・・・あれ？どっちが正しいのかな？つぎつぎにとけいを持ってきますが、どのとけいを見ても時間がちがっているのです。こまったヒギンスさんは、とけいやさんをよんできました。

『もしもまほうがつかえたら』

ロバート グレイブス//文 モーリス センダック//画 原もと子//訳 富山房 P-G

ジャックは、おじさんとおばさんといっしょにくらしています。でも二人は、あまりやさしくしてくれませんでした。なやんだジャックは、あるひ、やねうらべやでふしぎなみどりいろの本を見つめます。なんとそれは、まほうのおまじないの本でした。ジャックはいえを出ると、さっそくまほうをつかっておじいさんにへんしん！何も知らないおじさんとおばさんをまきこんで、たのしいことをはじめます。

『森のぶらんこ』 きみ きみよ//作 くまの ひでのぶ//絵 日本新薬 P-キ

森で、ひとりぼっちであそんでいたふくろうさんが、かぶっていた花のかんむりをおとしました。つぎのあさ、うさぎとりすときつねがやってきて、花のかんむりを見つけると、ぶらんこの上にどんぐりをひとつ、おきました。その日から、ふくろうさんと三びきは、まいにち手紙をかくようになりました。長いあいだ会っていない友だちがいたら、手紙をかいてみるといいかも。

『マスターさんとどうぶつえん』アーノルド ローベル//さく こみや ゆう//やく 好学社 P-ロ

マスターさんは、どうぶつが大好きです。天気の良い日はかならず、お気に入りのどうぶつえんへ出かけます。どうぶつたちも、マスターさんのことが大好き。会えないときは、どうぶつたちもマスターさんも、さみしい気持ちでいっぱいでした。

ある日のこと。どうぶつたちは、飼育員のおじさんがいねむりしているすきに、どうぶつえんをぬけ出してしまいます。どうぶつえんはからっぽです。どうぶつたちがむかったのは？

『フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし』

レオ レオニ//作 谷川 俊太郎//訳 好学社 P-レ

もうすぐ冬がやってきます。のねずみたちは、せっせとはたらいて、木の実やわら
をみつめています。でも、フレデリックはひとり、じっとしています。太陽の光に
あたり、まきばを見つめていたり。のねずみたちには、フレデリックがただ、
ぼーっとしているだけに見えるのです。冬がやってきて、のねずみたちはさむさに
まけてしまいそうでした。そこで、フレデリックがうごき出します。



『ペトロニーユと 120 ぴきのこどもたち』

クロード ポンティ//さく やまわき ゆりこ//やく 福音館書店 P-ホ

ねずみのペトロニーユは、120 ぴきの子ねずみをそだてるおかあさんです。天気の良いあさ、「チ
ーズこうちゃ」をのんで、さっそくあさごはんのじゅんびをします。そして、子どもたちに見送ら
れておつかいに出かけました。道のとちゅうでペトロニーユはとつぜん、へんてこなかいぶつにつ
かまってしまい、ドタバタの大ぼうけんがはじまります。ペトロニーユがあちこちとびまわっている
あいだに、120 ぴきの子ねずみたちもまた、たいへんなことにまきこまれていて…。

おすすめのおよみもの

『ペットショップはぼくにおまかせ』

ヒルケ ローゼンボーム//作 若松 宣子//訳 岡本 順//絵 徳間書店 94-ロ

ティミーがすんでいるへやの下にペットショップがあります。いつものように、金魚のえさをか
いに行くのとつぜん、オウムのシャベリスキーとカメのコリーナが声をかけてきました。お店の主人
がしばらくするすなので、かわりに店番をしてほしいというのです。うまくできるでしょうか？
どうぶつたちがかかえるなやみを、ていねいにかいけつしていくティミー。がんばれ！

『いい夢ひとつおあずかり』 小松原 宏子//作 北見 葉胡//絵 くもん出版 91-コ

「バク」というどうぶつをしていますか？夢をたべるどうぶつなのだそうです。バクのバク太郎
は、山奥でくらしていましたが、お金もちのおじさんにすすめられて、夢をあずかることができる
「夢銀行」をたてることに。夢銀行では、「夢玉」とよばれる玉に、いい夢をとじこめることがで
きます。夢玉におでこをくっつければ、またもういちどおなじ夢がみられるんだって。
バク太郎にしかできない、すてきな銀行ですね。

『のら犬ホットドッグ大かつやく』

シャーロット ブレイ//作 オスターグレン 晴子//訳 むかい ながまさ//絵 徳間書店 94-ブ

小学生の女の子シッセはがっこうからのかえり道で、ホットドッグのようにどう長の犬を、よく
見かけていました。あるひ、その犬が、シッセのいえまでついてきてしまいます。しかたなくあず

かることになったのですが、ホットドッグはまいにち大あばれ！それでもシッセは、うれしくてたまりませんでした。それから何日かすぎたころ、町でどろぼうじけんがおこります。

『世界でいちばんやかましい音』

ベンジャミン エルキン//作 松岡 享子//訳 太田 大八//絵 こぐま社 93-I

むかし、世界でいちばんやかましい「ガヤガヤ」という都がありました。やかましいのが大すぎな王子が、たんじょうびのおいわいに、「世界でいちばんやかましい音」がききたいというのです。王さまは、世界じゅうの人びとにつたえました。王子のたんじょうびになると、だれもがいっせいに、ありったけの声で「おめでとう！」とさげびます。いったいどんな音になるのでしょうか。

『魔法使いのチョコレート・ケーキ』

マーガレット マーヒー//著 石井 桃子//訳 シャーリー ヒューズ//画 福音館書店 93-マ

魔法使いのおじいさんがいました。おじいさんは、魔法をつかうことがあまり上手ではありませんでした。でも、チョコレート・ケーキをつくることだけは、とくいでした。そこで、パーティーをひらこうと、町じゅうの子どもにしょうたいじょうをおくりました。でも、だれひとり、いっしょにケーキをたべてくれるひとはいません。おじいさんは、しあわせになれるでしょうか。ほかにも短いおはなしが入っています。

『ねこの小児科医ローベルト』 木地 雅映子//作 五十嵐 大介//絵 偕成社 91-キ

ある夜、ユキの弟のからだのぐあいかわるなくなりました。おとうさんがびょういんにでんわをしましたが、どこにもつながりません。いそいできゅうきゅう車をよぼうとしたとき、ユキが、ふしぎなばんごうを見つけました。おとうさんがそのばんごうにかけると、でんわはすぐにつながって、明るい声がきこえました。やってきたのは、「松田ローベルト」という、大きな白黒のねこでした。

『クリスマスがちかづく』 斉藤 倫//作 くりはら たかし//画 福音館書店 91-サ

クリスマスといえば、とっても楽しいイベントですよ。まちはキラキラして、プレゼントがあって。でも、この本の主人公セロは、クリスマスが大きらいでした。だってこの日は、おとうさんもおかあさんもかえってこないから。いつもさみしくてたまらないのです。しばらくして10さいになったセロは、思いきって、おとうさんにたずねました。「どうしてクリスマスがちかづく、かえってこなくなるの？」おとうさんの答えは…？



『町にきたヘラジカ』

フィル ストング//作 クルト ヴィーゼ//絵 瀬田 貞二//訳 徳間書店 93-ス

ワインとイバルが狩りからもどってくると、うまやから、かわったなき声がきこえました。おそろおそろのぞいてみると、そこにいたのは1とうのヘラジカでした。おなかをすかせて、森からやってきたのです。ヘラジカをおいだそうとしていたふたりでしたが、大人たちといっしょに、少しずつヘラジカのことを気にかけるようになります。さむい冬にぴったりの、心あたたまるとおはなしです。